

資料1

鳥取駅周辺憩いと賑わい創出実証事業アンケート結果（中間報告）

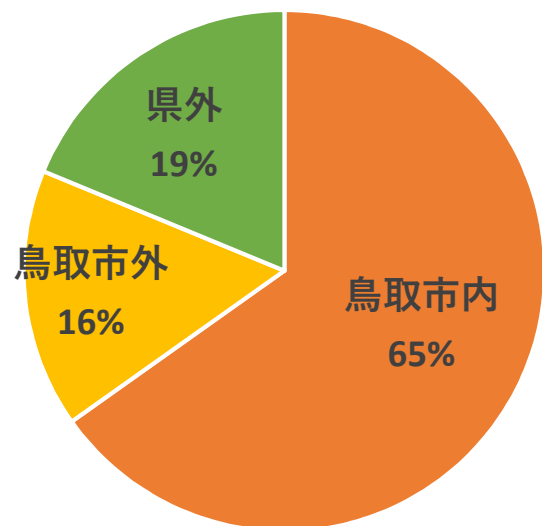
第2回 鳥取駅周辺リ・デザイン会議資料
令和5年10月27日



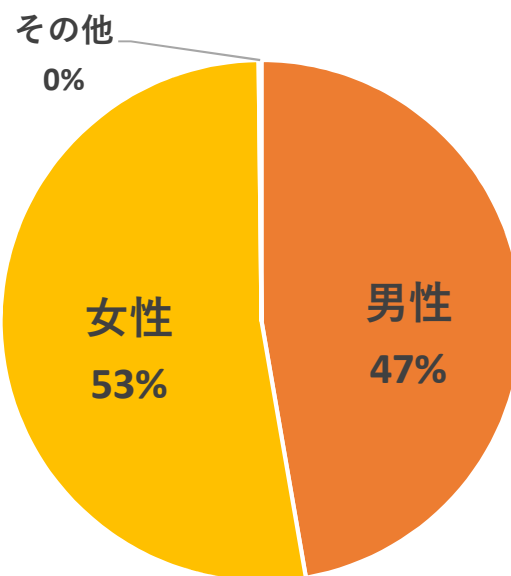
実証事業参加者アンケート（10/8途中経過集計）

回答数 586件 （デジタル151、アナログ435）

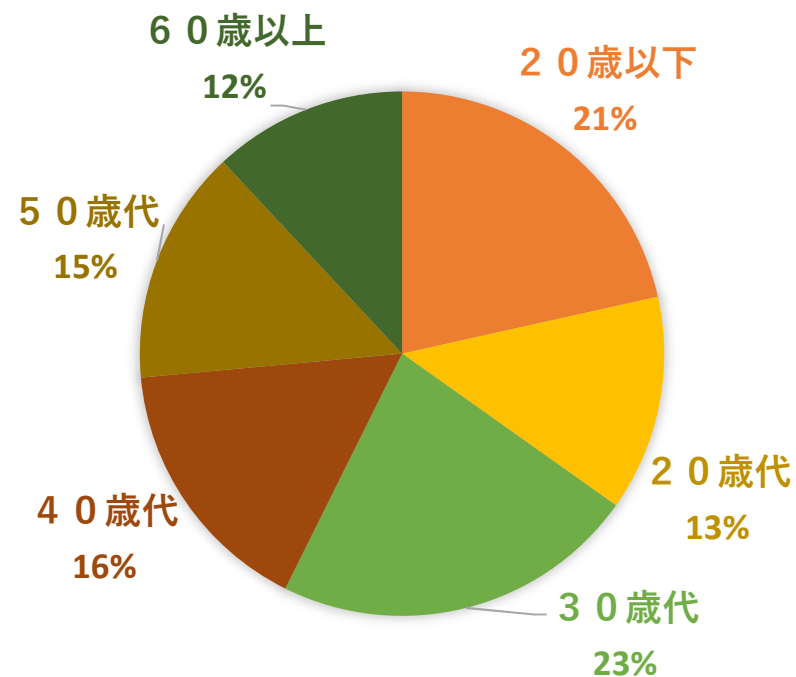
居住地



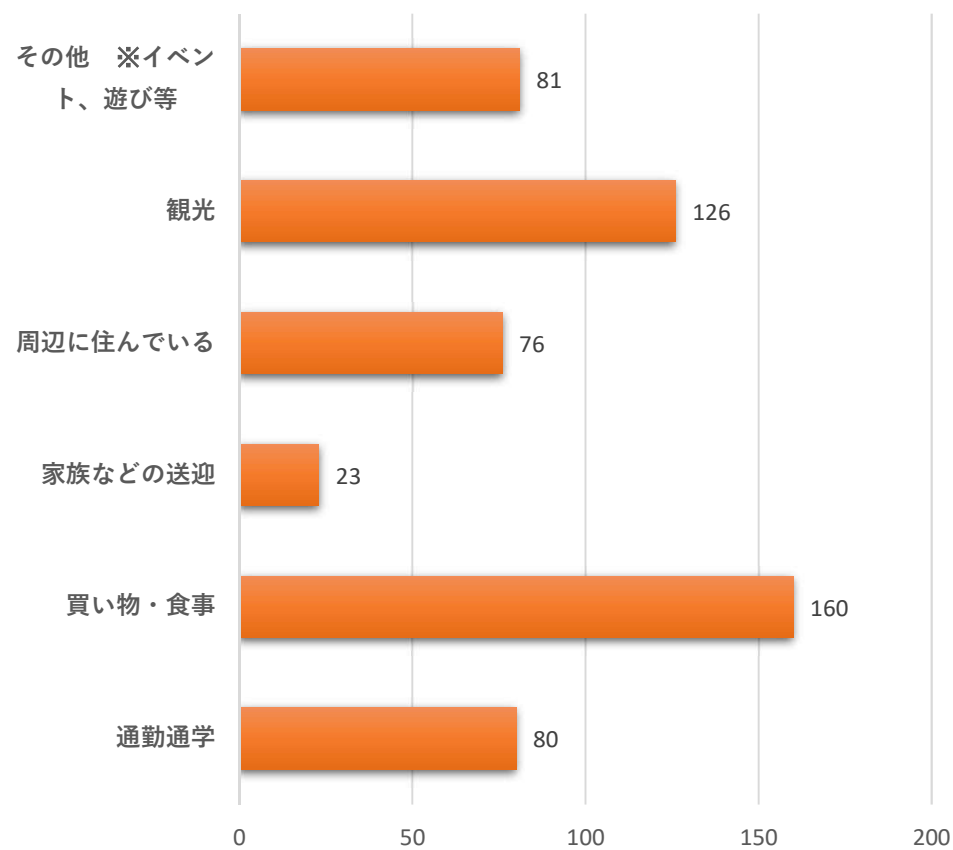
性別



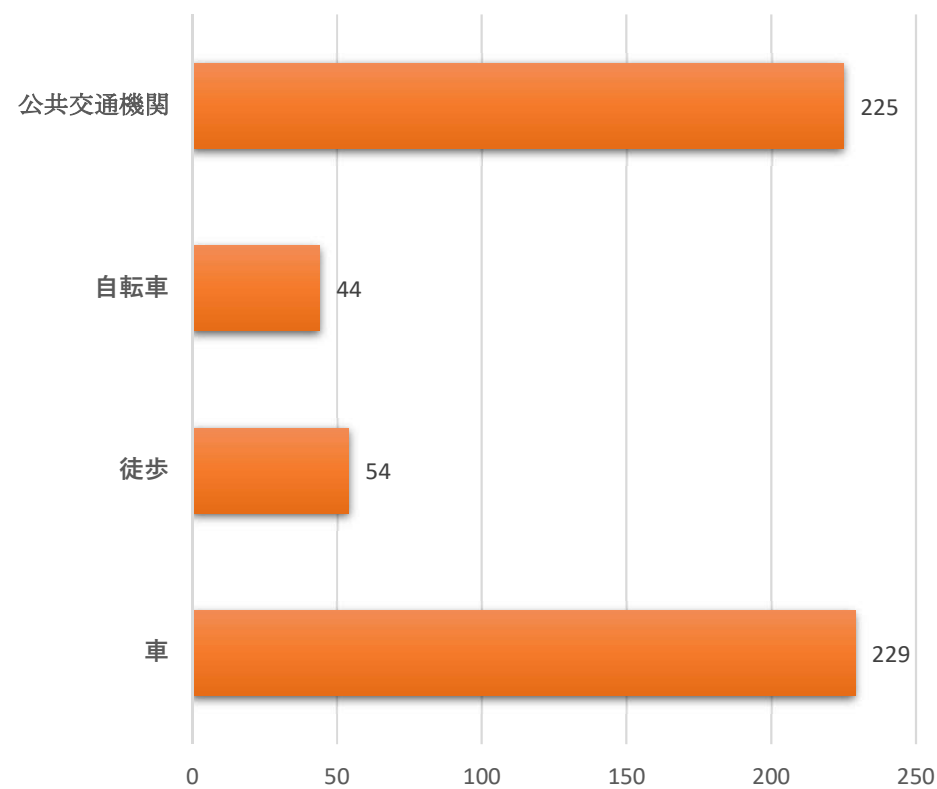
年代



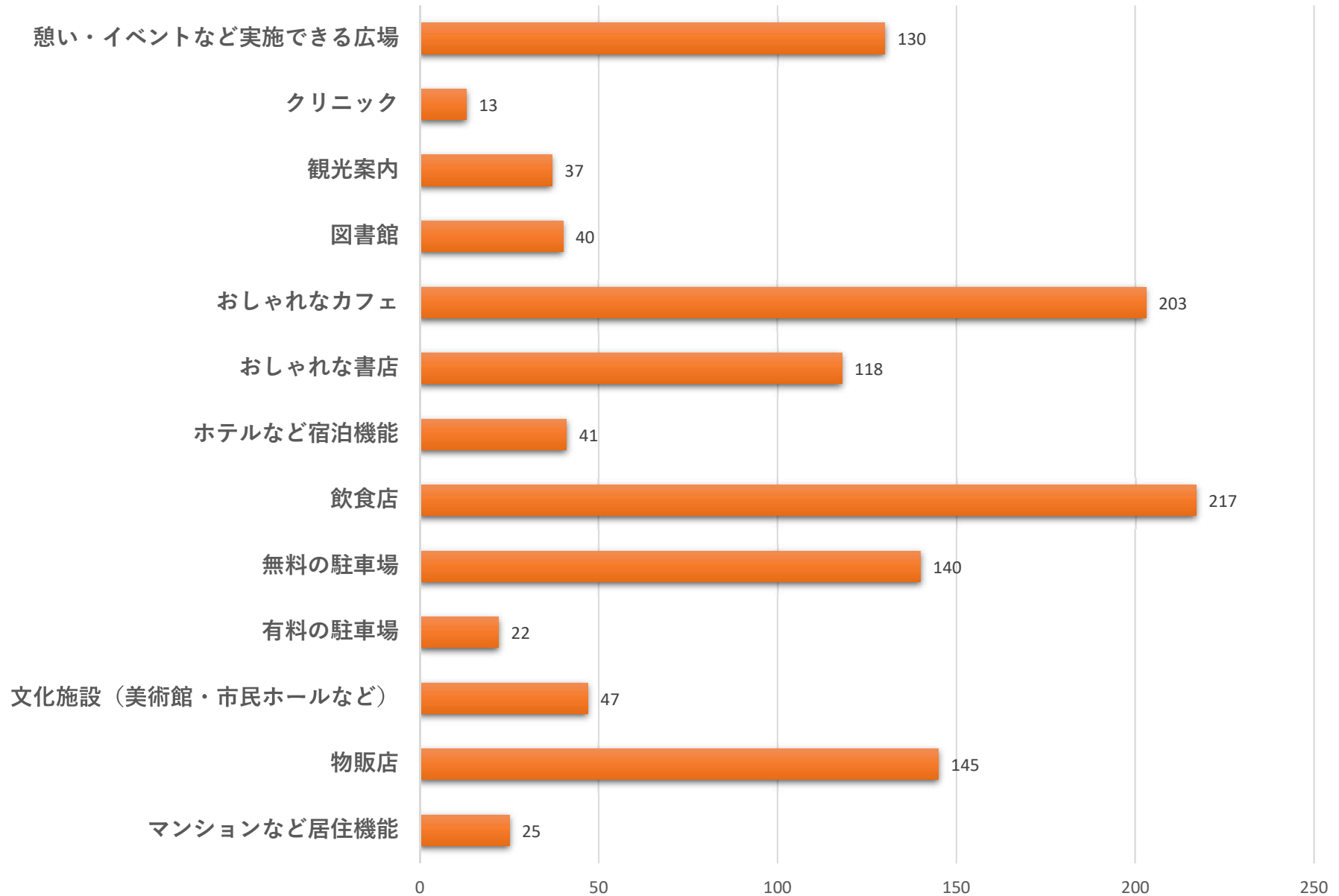
鳥取駅に来た目的



鳥取駅までのアクセス方法



鳥取駅周辺に求める機能は何ですか？



その他意見（自由回答 211件より抜粋）

治安、衛生面についての意見（9件）

- ▶ 治安をよくしてほしい、ケヤキ広場は暗い
- ▶ 子どもが安心して遊べるようにきれいにしてほしい。

賑わいの場についての意見（14件）

- ▶ 普段はあまり利用しないがイベントがあれば来たいと思う。
- ▶ 便利な場所になってほしい。あまり行きたいと思うところがないので目玉の施設が欲しい。
- ▶ 定期的にイベントをして若者が集まる所になったらいい

憩いの空間についての意見（14件）

- ▶ とてもスペースが広いので、鉄道を利用される方以外も自然と集まるような憩いの場所となるといいと思います。
- ▶ フリーでだれでもすわって楽しめる場所、椅子テーブルが欲しいです。音楽が流れているおしゃれな楽しい雰囲気。おいしい気軽に入れる和食の店

子供の遊び場についての意見（17件）

- ▶ 子どもが遊ぶ場所があった方がよい。大人も楽しめる。
- ▶ 子供がわいわいと賑わって、人の通りもあり、買い物も不自由なくできるようになってほしい

皆が楽しめる場についての意見（37件）

- ▶ 人が集まる賑わいのある場所
- ▶ 沢山人が集まる場所になってほしい
- ▶ 家族で楽しめる場所にしてほしいです。
- ▶ 全世代が集まるような駅になってほしい
- ▶ 観光客によるこんでもらえるような店があったらいい

買い物、飲食についての意見（37件）

- ▶ 商業ビル、テナント、たくさんの店が欲しい（都会的）魅力あるお店を複数入れる。複合施設、おいしいもの、おしゃれなものが増えてほしい。
- ▶ 駅前といえばこの店みたいなオンリーワンの店がたくさんできて欲しい

交通についての意見（13件）

- ▶ 駅から降りてすぐバス停が分かるようにしてほしい。「鳥取県に来たー」とわかるような施設、モニュメントなどの設置
- ▶ JRから出てすぐにバスや北側にすぐアクセスできるような駅にしてほしい。都会のように。

駐車場についての意見（10件）

- ▶ 車なので、無料でとめれるところがあれば来やすい。
- ▶ 周辺の店舗を利用したら無料にしてほしい

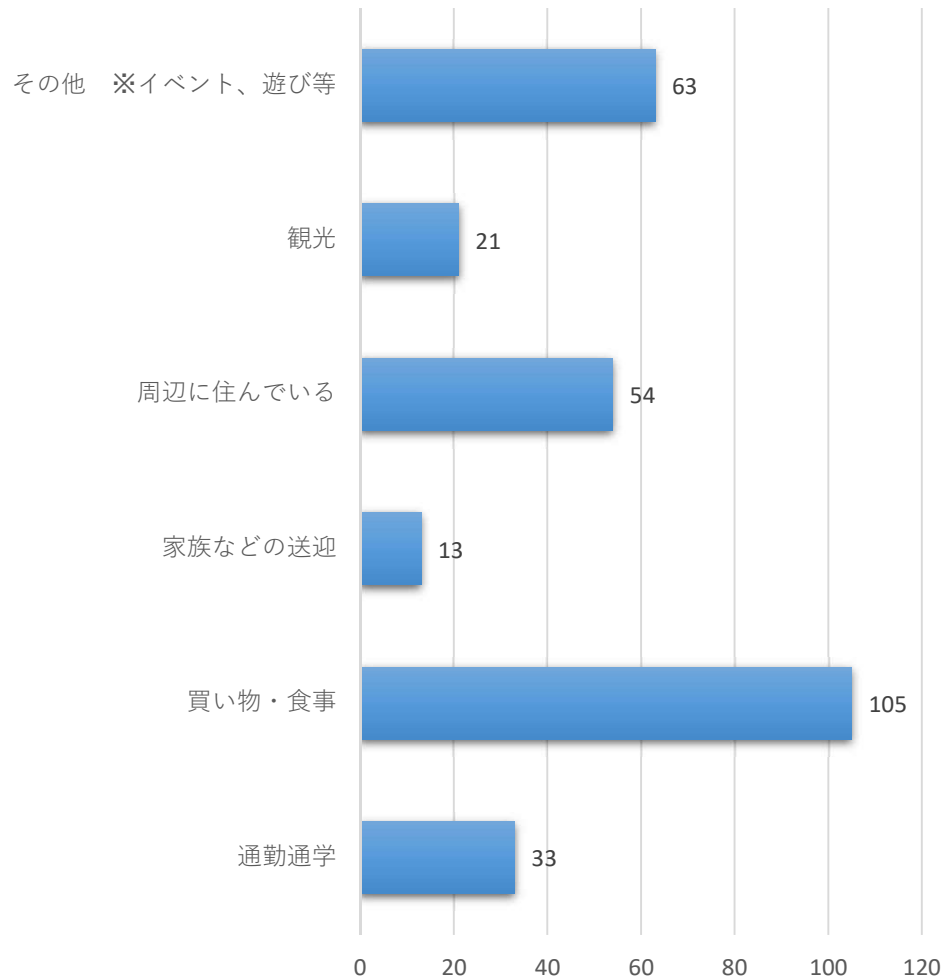
その他（60件）

- ▶ 映画館の充実。年齢等関係なく、市民が「余暇を楽しむために行ってみたくなる」場所。県外の人がJRや高速バスで降り立った時から、好印象とワクワク感を与えられるような街づくり。
- ▶ 市内の振興策と一緒に取り組むべき。県庁までの道を。駅周辺はイオン、鉄道公園とも連携。
- ▶ フォトスポットがいっぱいあれば良い。風紋広場のオブジェ良い。サンド像の常設。
- ▶ 勉強ができる所がほしい
- ▶ 気軽に時間をつぶせるところ（汽車待ち時間）

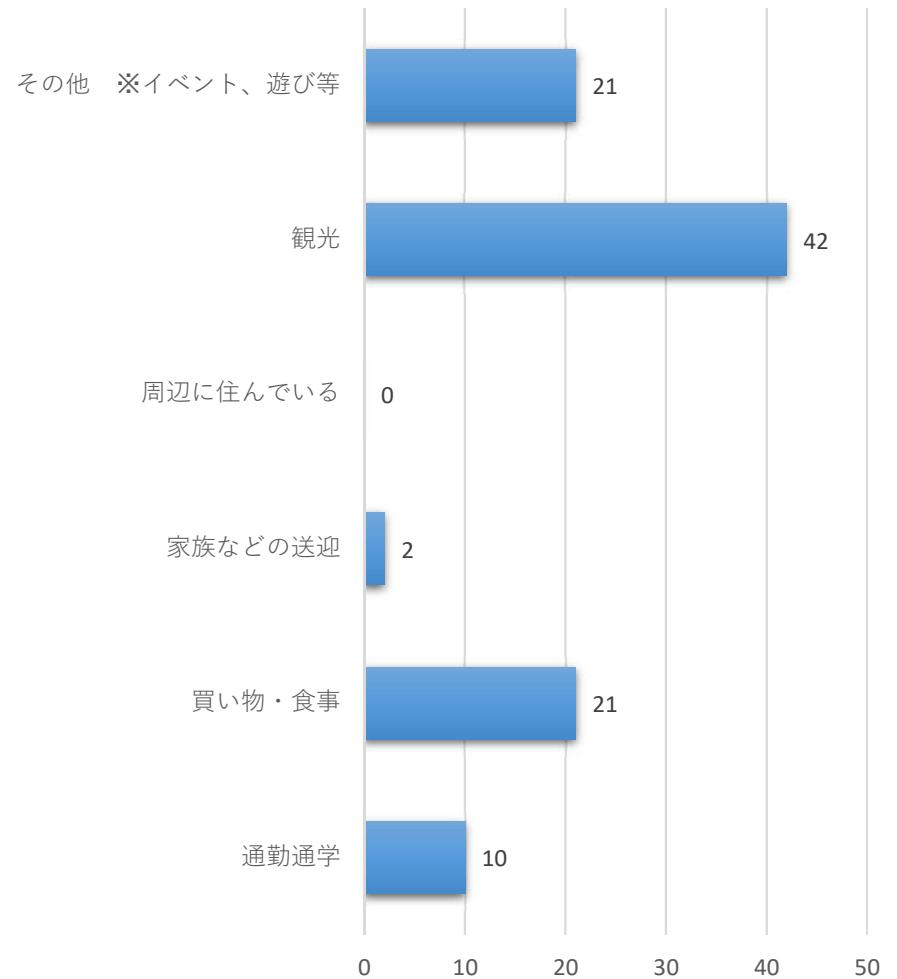
市内在住者と市外在住者の回答比較 (アナログ回答435件より)

鳥取駅に来た目的

(市内)

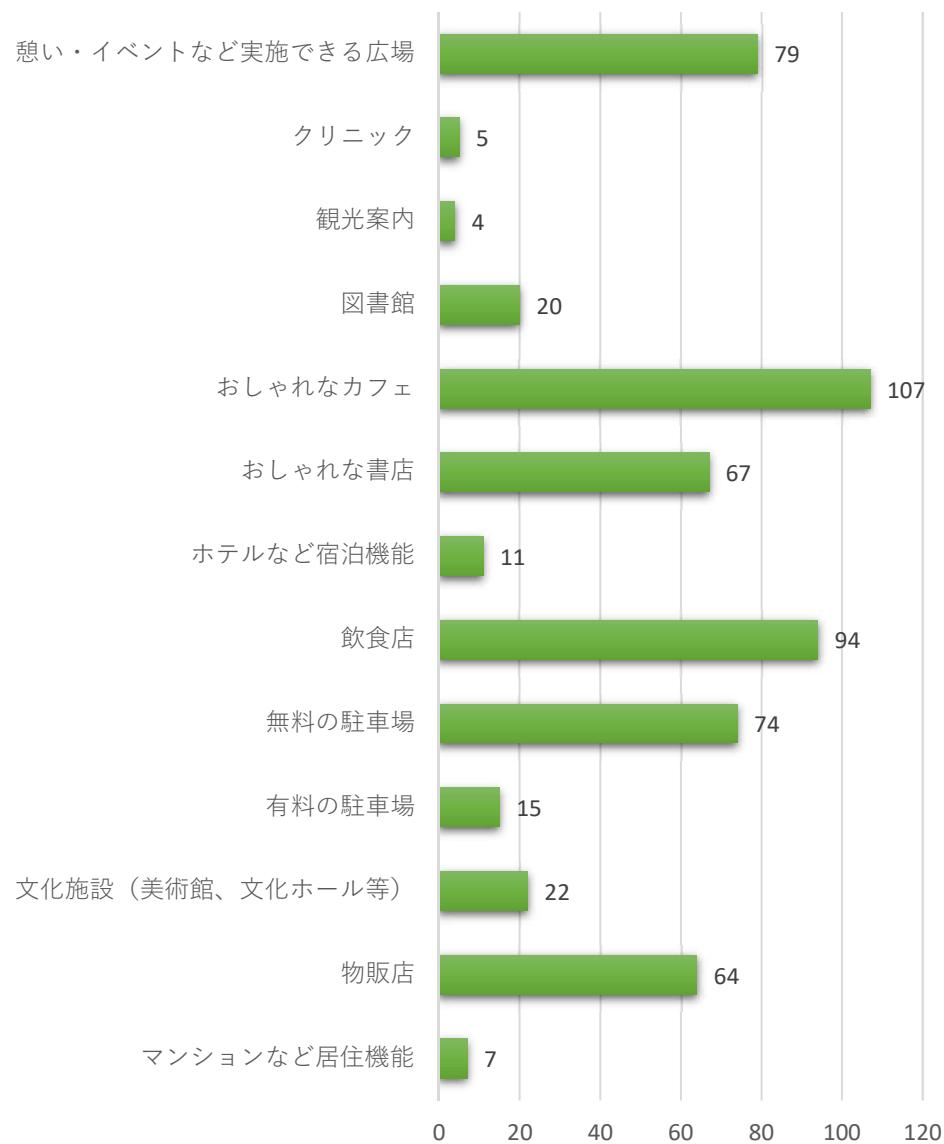


(市外、県外)

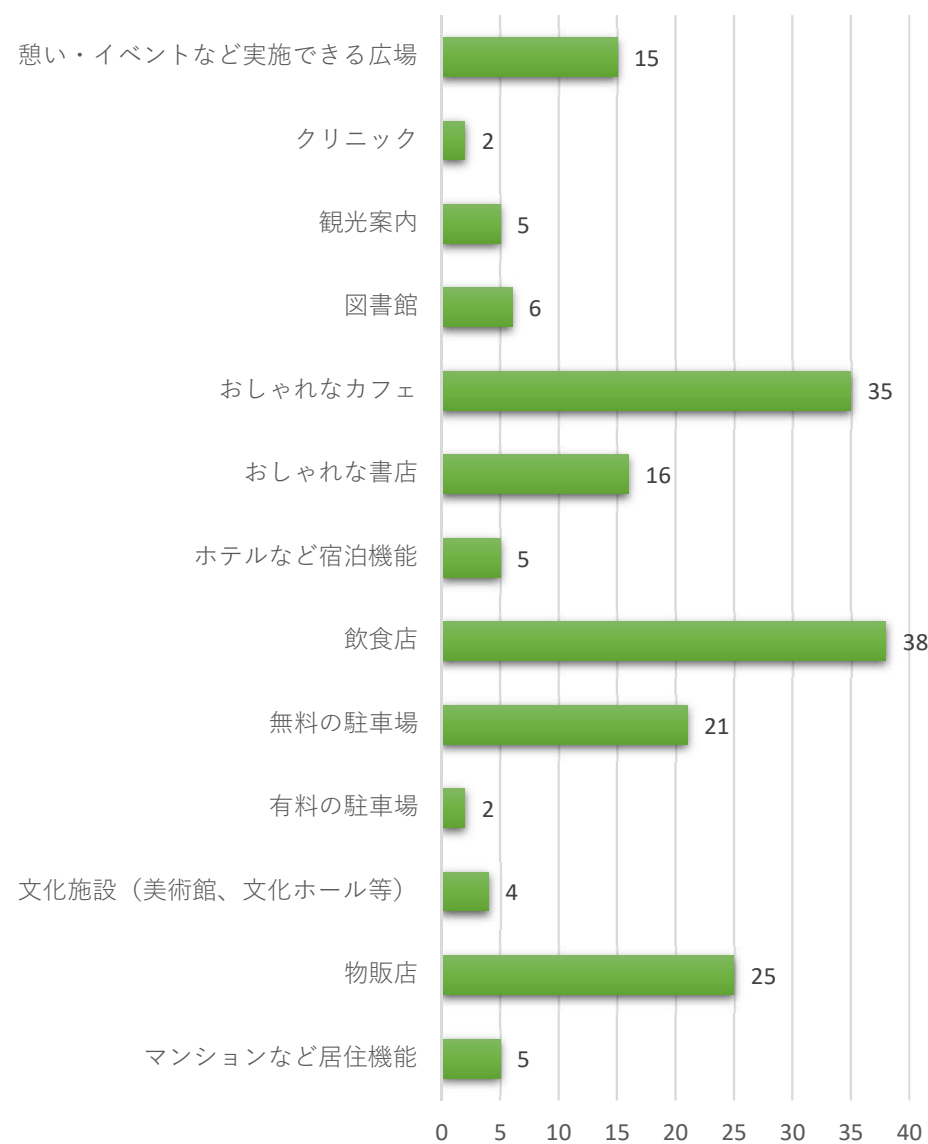


鳥取駅周辺に求める機能は何ですか？

(市内)



(市外、県外)



資料2

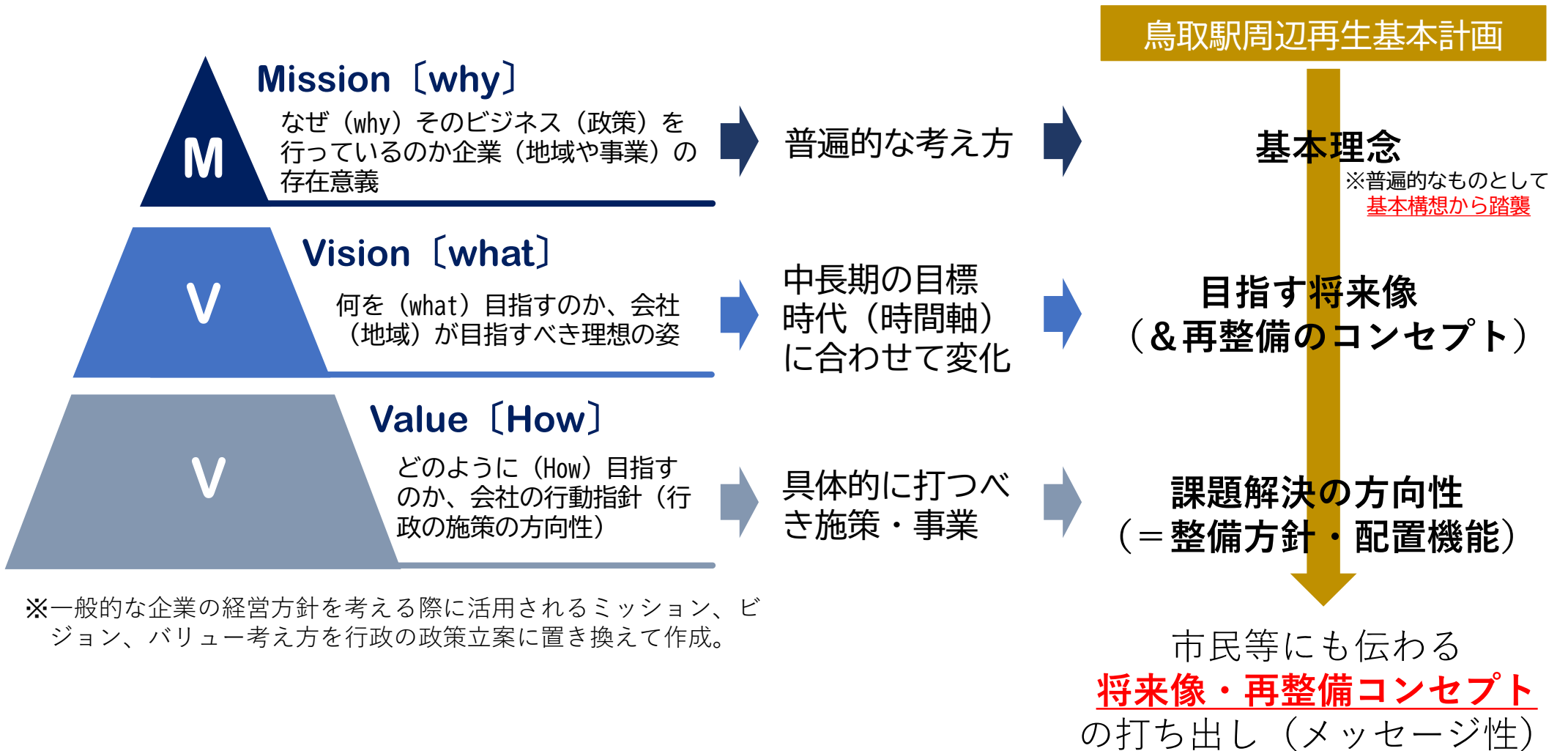
鳥取駅周辺再整備のビジョン・基本方針について

第2回 鳥取駅周辺リ・デザイン会議資料
令和5年10月27日



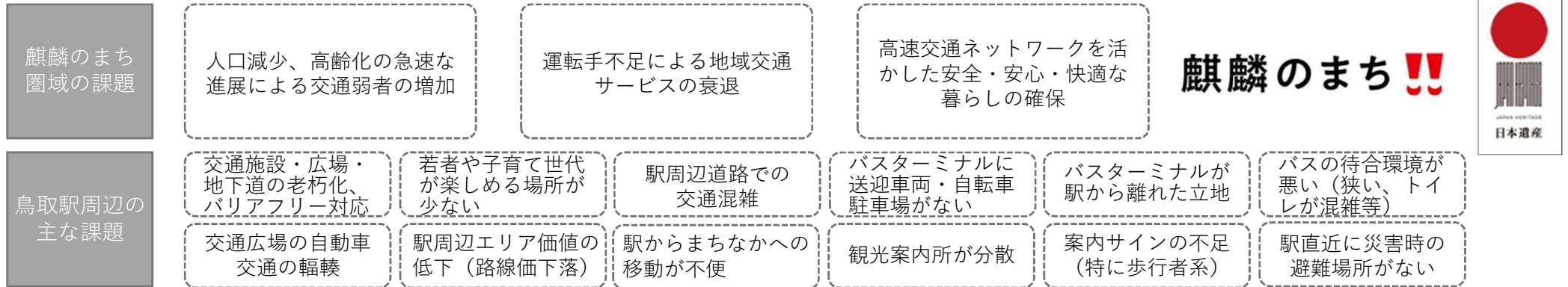
1 - (1) 基本理念・目指す将来像について

- 鳥取駅周辺の再整備は、将来のまちづくりを戦略的に取り組む重要政策であり、まちづくりに対して、経営的な観点を取り込みながら、基本理念、目指す将来像などのコンセプトを明確にする。
- 基本構想で定めた基本理念を踏まえ、市民にもメッセージとして伝わる「目指す将来像」、「再整備のコンセプト」を定める。



※一般的な企業の経営方針を考える際に活用されるミッション、ビジョン、バリュー考え方を行政の政策立案に置き換えて作成。

○再整備にあたっては、次の基本理念、基本コンセプト、課題解決の方向性に基づき、**産・学・官・金連携**により基本計画の具体化を目指していきます。



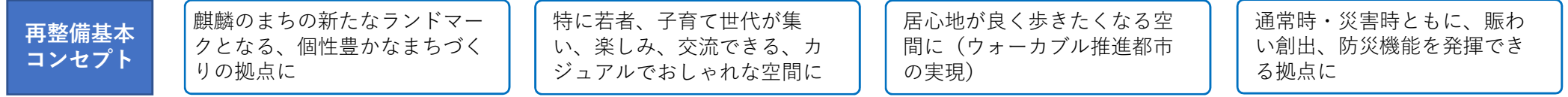
基本理念 人が集い 交流し 魅力あふれる街『鳥取OACIS』の創造

普遍的なもの

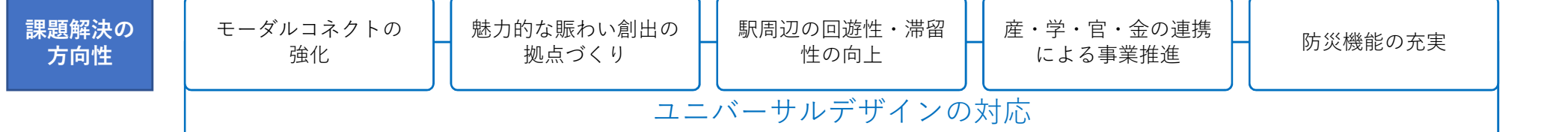
趣旨 駅周辺地区では、**広域交通の起点 (Origin)** として**魅力的 (Attractive)** で人々が集い、**交流 (Communication)** が進み、また新時代に対応した**各種情報 (Information)** がますます集積する、**持続可能 (Sustainable)** なまちづくりを目指します。

目指す将来像 次の50年へ。未来創造ステーション
—ワクワクが止まらない、駅のミライのカタチ—

時代によって変化



再整備の重要な視点 災害に強いまちづくりの拠点 / 先端技術の導入（スマートシティ） / 市民や民間との共創



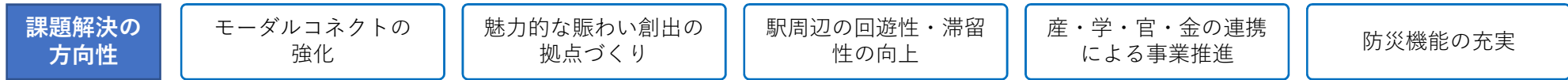
目指す将来像

次の50年へ。未来創造ステーション

—ワクワクが止まらない、駅のミライのカタチ—

ことば	ことばの意味・込めた思い
次の50年へ	これまでの50年の歴史・文化を大切に守りながら、次の50年をみんなで一緒に考える。
未来創造	これまでにない新たなライフスタイル、人の流れと出会いの場をつくり、鳥取の未来、山陰の未来、日本の未来を産官学金が連携し、創造する。
ステーション	鳥取駅周辺に多様な機能が集積し、人・情報・ビジネス・イノベーションが日々、融合する、誰もが訪れ、働き、学び、楽しめる、日常と非日常が交錯する拠点を目指す。

○課題解決に向けて、必要な施設・機能とそれを利用するターゲットを想定し、具体的な施策案を検討します。



鳥取駅周辺再生に必要な施設及び機能の例				ターゲット	具体的な施策案(ハード・ソフト)
①施設配置	②-1.機能(大分類)	②-2.機能(細分)			
1.交通ターミナル	バス・タクシー	交通結節・ターミナル機能 待合機能	バスの乗降機能 タクシーの乗降機能 -	公共交通利用者 // //	バスターミナル・交通広場の再編 待合環境、交通情報の発信
	一般車	交通結節・ターミナル機能 新たな交通サービス機能 シェアリング機能	一般車送迎機能・乗換機能 駐車機能(駅利用・送迎) - -	公共交通利用者・自動車利用者 // 新たな移動需要 //	バス・タクシーと一般車の分離 駐車場の再編(移設・集約) 次世代モビリティサービスの導入(自動運転等) シェアリングモビリティサービスの導入(カーシェア)
	全般 (周辺交通)	交通の円滑化機能	- -	公共交通利用者・自動車利用者 //	MaaS環境整備(乗り継ぎの円滑化) 駅周辺道路の改良(交通渋滞・混雑の緩和)
2.広場等	デッキ 広場	賑わい機能 滞留機能 防災機能 回遊機能	- - - -	若者世代・子育て世代 // 市民全般・麒麟のまち都市圏民 市民・来訪者・観光客	デッキ・平面広場等のオープンスペースの整備 オープンスペース・ベンチ等休憩施設の整備 一時避難場所、帰宅困難者の受け入れ 地下道の改良・ペDESTリアンデッキの整備 商店街との連携(共通クーポン・イベント)
		新たな交通サービス機能	歩行支援機能	新たな移動需要	次世代モビリティサービスの導入(小型・低速の自動運転等)
3.複合施設		公益機能	文化的機能 子育て機能 福祉機能 イノベーション機能	若者世代(高校生など) 子育て世代 高齢者世代 起業家	文化施設(図書館・美術館・ホール) 子育て施設(保育園等) 福祉・介護施設 インキュベーション施設・観光・まちなかキャンパス・シェアオフィス
		賑わい機能	商業(収益)機能 まちづくりマネジメント機能 情報案内機能	市民全般 行政・民間・大学・NPO等 市民・来訪者・観光客	スーパー・百貨店・コンビニ・カフェ・飲食 公民学連携によるまちづくりプラットフォーム 統合型情報発信施設の整備
4.民間施設		賑わい機能	商業(収益)機能 宿泊機能・居住機能 駐車機能(施設利用)	市民全般 市民・観光客 市民全般・来訪者	スーパー・百貨店・コンビニ・カフェ・飲食 マンション・ホテル 駐車場の再編(移設・集約)

○課題解決の方向性に基づき、必要な機能・ターゲットを踏まえた、鳥取駅再生整備の基本方針を以下のとおり設定する。

課題解決の方向性

課題解決の方向性は相互に関連し、再生整備の基本的な考え方へ繋げる

モーダルコネクトの強化
(交通モード間の接続)

駅周辺の回遊性・滞留性の向上

防災機能の充実

魅力的な賑わい創出の拠点づくり

ユニバーサルデザインへの対応

産・学・官・金の連携による事業推進

必要な機能・ターゲットを踏まえ

鳥取駅周辺再整備の基本方針（案）

(1) 交通ターミナル機能の再編と歩行者空間の確保

○**交通ターミナル機能の再構築**と併せ、駅北側の回遊性を向上させ、安全で快適に移動することができる歩行空間を確保するため、**広場機能を備えた歩行者空間（デッキや平面広場など）を整備**します。

(2) 利便施設・公益施設を備えた複合施設の整備

○JR・バス利用者等の**利便施設**と、図書館や文化施設などの**公共公益施設**を集約した**複合施設を整備**し、駅周辺の賑わいを創出します。

(3) 多様な機能を備えた民間施設の誘導・整備

○民間投資による商業機能や居住機能、業務機能等を誘導するため、**民間の有するノウハウや・資金力を最大限に活かしたPPPを活用**します。

具体的な整備イメージ（複数比較案）を検討

資料3

駅前等の機能配置案について

第2回 鳥取駅周辺リ・デザイン会議資料
令和5年10月27日



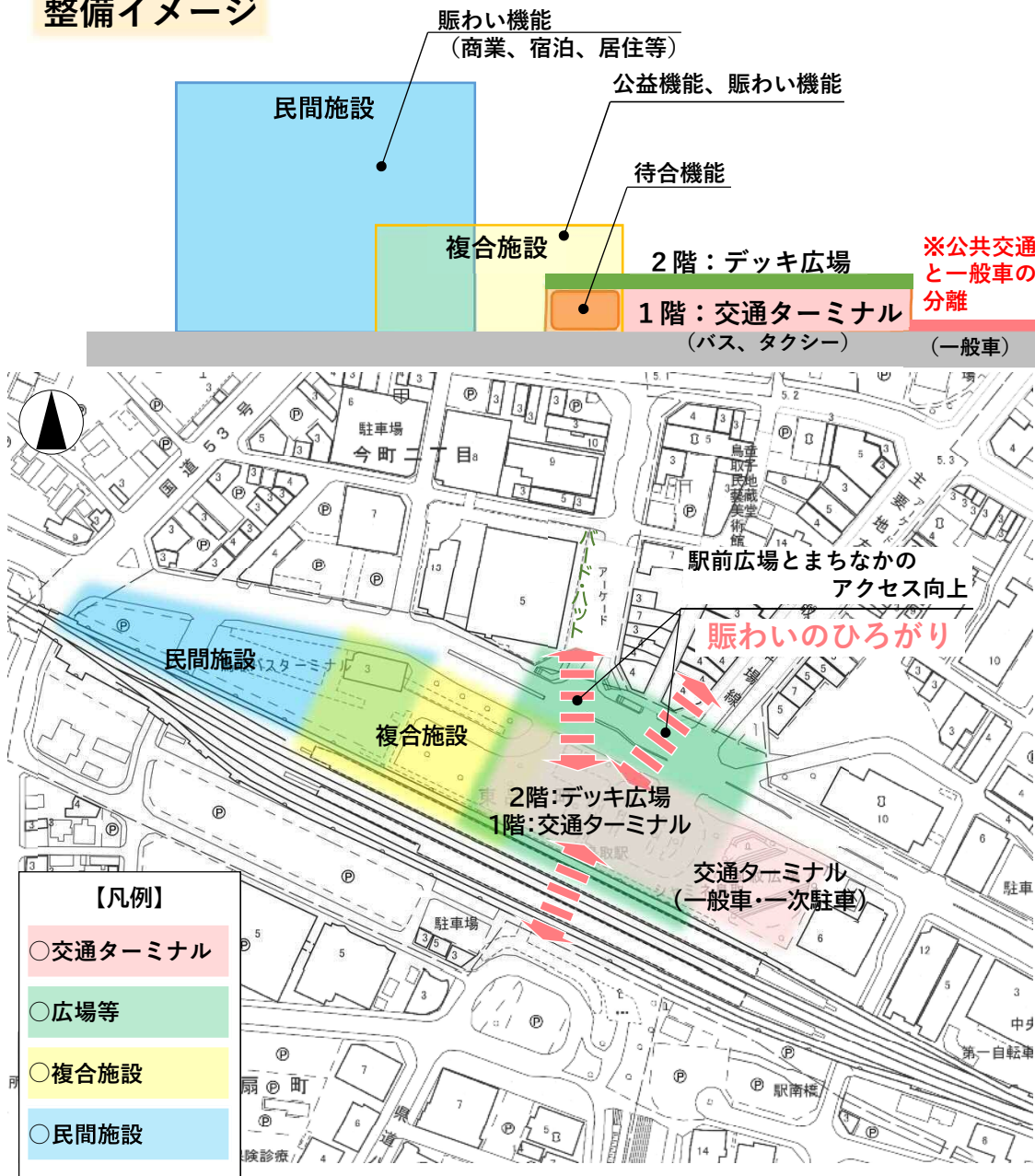
3-(1) 整備イメージ比較案

○鳥取駅前再生整備の基本方針（案）に基づき、駅前空間の機能・施設配置について比較案を検討。

項目		配置案①	配置案②
整備イメージ	機能配置		
	立面		
概要		<ul style="list-style-type: none"> 交通ターミナル機能の再編と歩行者空間の確保として、広場機能を備えたデッキ広場を整備し、車両と歩行者を上下に分離 バス・タクシー等の公共交通と一般車を分離し、交通の円滑化や安全性を向上 複合施設や民間施設を併設し、鳥取駅へ来る目的の創出や心地よく過ごせる環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ターミナル機能の再編と歩行者空間の確保として、既存市街地との連続性に配慮した平面広場を中心にバス乗場等を駅前に集約し、一般車との分離により安全性を向上 複合施設や民間施設を併設し、鳥取駅へ来る目的の創出や心地よく過ごせる環境を整備

○デッキ広場案

整備イメージ

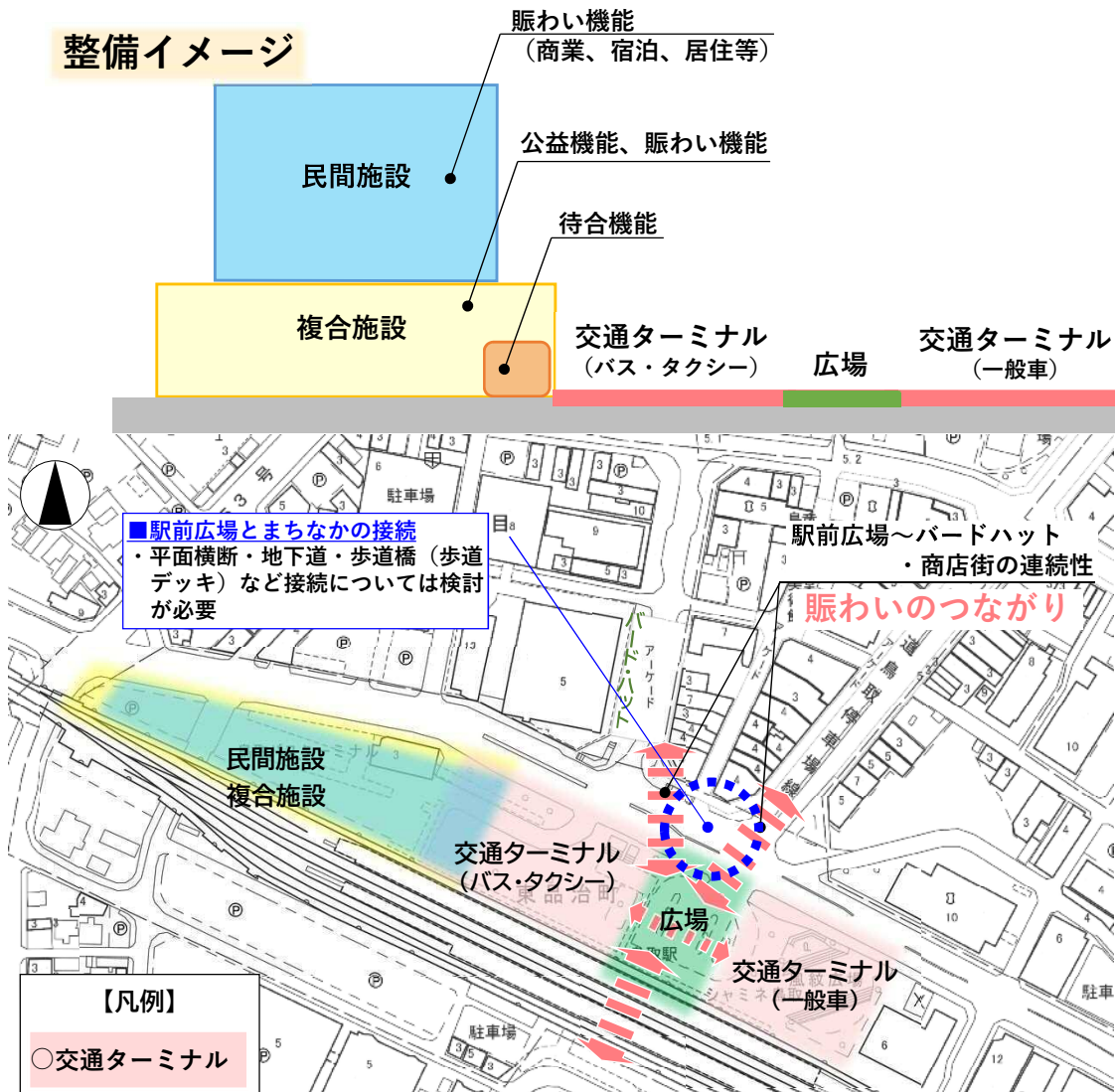


項目	特徴
交通ターミナル 交通結節機能 待ち機能 新たな交通サービス機能 シェアリング機能 交通の円滑化機能	<ul style="list-style-type: none"> ○交通ターミナル機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> 分散されている公共交通（バス）とタクシー・一般車の向上を交通ターミナルとして集約し、乗換の利便性向上など機能強化を図る。 公共交通と一般車の分離による公共交通主体の整備。 ○各種交通モードとの歩行者分離 <ul style="list-style-type: none"> デッキ広場による空間の有効活用等により、歩車の輻輳の解消等、安全性の向上を図る。 ○待ち環境の高度化 <ul style="list-style-type: none"> 老朽化したバス待合所を複合施設と一体的に整備することで、待ち時間に買い物や食事ができる利便性の高い待ち環境を整備。災害時の一時避難場所としての利用も念頭においた整備を行う。
デッキ広場 賑わい機能 滞留機能 防災機能 回遊機能 新たな交通サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> ○まちなかへの回遊性が向上 <ul style="list-style-type: none"> 駅と直結したデッキ広場の整備により、まちなかのスムーズな動線を確保し、回遊性の向上を図る。 ○滞留空間によるにぎわい創出や景観形成 <ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が集うオープンスペースを整備し、賑わい見える化を図る。 麒麟のまち玄関口としての役割など市内が一望できる景観の確保を図る。 ○災害時の広場空間の利活用 <ul style="list-style-type: none"> 災害時には一時避難場所、帰宅困難者の受け入れ空間として活用。
複合施設 公益機能 賑わい機能	<ul style="list-style-type: none"> 若者や子育て世代、お年寄りなど様々な市民が鳥取駅周辺へ訪れる機会の創出を目的に、公益機能が入る複合施設を整備し、拠点としての賑わい創出を図る。
民間施設 賑わい機能	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の再整備に合わせて、民間活力により商業、宿泊・居住機能を有する民間施設の整備促進を図る。 そのためには、民間の有するノウハウや・資金力を最大限に活かしたPPPの活用も視野に検討する。

3-(3) 整備イメージ (案) 案②

○平面広場案

整備イメージ



■駅前広場とまちなかの接続
 ・平面横断・地下道・歩道橋（歩道デッキ）など接続については検討が必要

賑わいのつながり

- 【凡例】
- 交通ターミナル
 - 広場等
 - 複合施設
 - 民間施設

■駅前広場とまちなかの接続について

- ①地下道：安全性は確保できるが、人の回遊など賑わいが見えづらい。
- ②平面横断：人の賑わいなどが滲みでるが、歩行者横断等による周辺交通へ影響が懸念される。
- ③歩道橋：周辺交通への影響や安全性の観点で優れるが、縦移動など（歩行者デッキ）バリアフリー対応が必要。

項目	特徴
交通ターミナル 交通結節機能 新たな交通サービス機能 シェアリング機能	<p>○JRと公共交通の乗換え利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅出入口から離れているバスターミナルを 駅出入口動線近くに配置し、JRからバスへの 乗換えの利便性向上を図る。 ○安全性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・現況のタクシーと一般車の乗降を分離することで、車と人の輻輳を解消し、安全性の向上を図る。 ○待合環境の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の待合環境と複合施設が接続することで、乗り換えの利便性向上や災害時における 帰宅困難者の一時的な待機が可能。
広場(平面) 賑わい機能 滞留機能 回遊機能	<p>○まちなかへの回遊性が向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅とオープンスペースを連続的に配置することで、人の動きや賑わいが広がりを図る。 ・平面での広場空間を確保することで、バードハットや商店街との まちの連続性が確保される。 ○滞留空間による賑わい創出や景観形成 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前に平面でのオープンスペースを確保することで、既存の市街地も含め面的な人の往来・賑わいの創出を図る。 ・麒麟のまち玄関口としての 見通しの良い景観形成を図る。
複合施設 公益機能 賑わい機能	<ul style="list-style-type: none"> ・若者や子育て世代、お年寄りなど様々な市民が 鳥取駅周辺へ訪れる機会の創出を目的に、公益機能が入る複合施設を整備し、拠点としての賑わい創出を図る。
民間施設 賑わい機能	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の再整備に合わせて、民間活力により商業、宿泊・居住機能を有する 民間施設の整備促進を図る。 ・そのためには、民間の有するノウハウや・資金力を最大限に活かした PPPの活用も視野に検討する。

○老朽化により架け替えが必要となっていた新宿跨線橋の架け替えを行うとともに、交通が輻輳する新宿駅南口において、線路上空に高速バス・タクシーの乗降場や歩行者空間などと鉄道施設を一体的に整備する新宿駅南口地区基盤整備事業により、総合的な交通結節点として平成28年4月に開業。

高速路線バスの発着便数	最大1,720便
高速路線バスの停車場数	15バース
高速路線バスの運行事業者数	117社(開業時)

3-(4) 他都市事例 事例②博多駅

広場等

回遊機能

賑わい機能

滞留機能

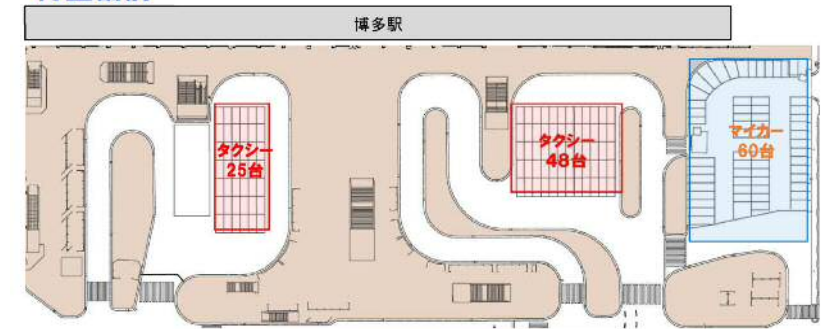
○駅前広場の交通機能を駅ビルや近隣施設へ確保、駅前の交通機能も集約することで、大規模な歩行者空間を確保。歩行者の溜まり空間やイベントスペース、緑の配置などで、憩いや賑わいの空間を創出。

○イベントスペースには大屋根が架けられ、約826㎡の空間をイベント等に活用。



▲博多駅全景 出典:グッドデザイン賞HP

再整備前



地上部に憩い・にぎわい空間を創出

再整備後



※交通施設の一部を地下レベルへ。

▲道路付替による交通施設と歩行空間の再整備 出典:駅まち再構築事例集 国土交通省



(地域振興イベント)



(地域振興イベント)



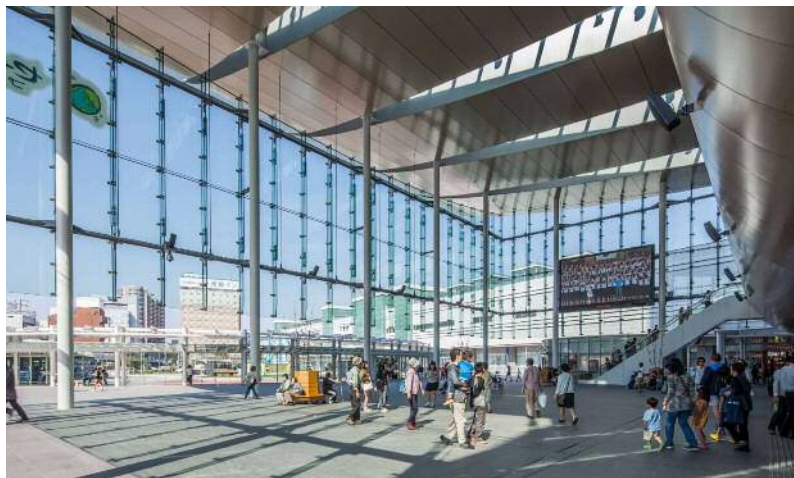
(PRイベント)

▲博多駅前イベントスペースの活用イメージ 出典:福岡市HP



○JR福井駅西口の複合施設ハピリンに福井市にぎわい交流施設(1F ハピテラス と 3F ハピリンホール)を配置。特にハピテラスは大きな屋根のかかった全天候型の「屋根付き広場」と「屋外広場」を整備し、「憩いやすらぐ・楽しむ・学ぶ」新しいまちのステージとなる広場として活用されている。

○駅前の特徴的な恐竜のオブジェ等、地域を象徴するインパクトのあるモニュメントを設置。



▲ハピテラス(全天候型広場)の様子
出典:福井市にぎわい交流施設



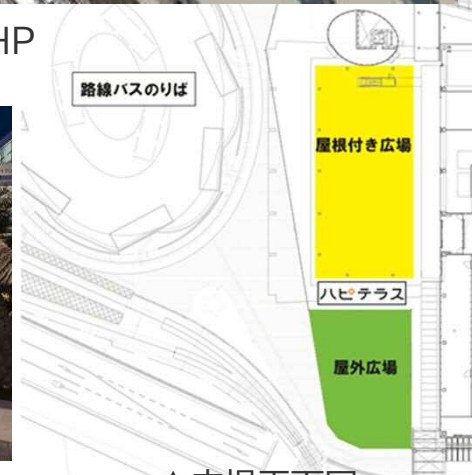
▲駅前整備のレイアウト図 出典:福井市HP



▲屋外広場の様子 出典:福井市にぎわい交流施設



▲駅前の地域性のあるモニュメント
出典:福井市HP



▲広場平面図
出典:福井市にぎわい交流施設

3-(4) 他都市事例 事例④金沢駅

広場等

回遊機能

賑わい機能

滞留機能

- 金沢駅は雨や雪が多いため『駅を降りた人に傘を差し出すおもてなしの心』をコンセプトに誕生。
- 金沢の伝統芸能である能楽で使われる鼓をイメージした外観を形成。金沢駅東にはもてなしドーム地下広場を設け、屋内でのイベント等の利用が可能。



▲金沢駅全景 出典:金沢市観光公式サイト金沢旅物語



▲金沢駅のシンボルになっている鼓門
出典:金沢市観光公式サイト金沢旅物語



▲もてなしドーム地下広場 出典:金沢市HP



▲もてなしドーム 出典:ほっと石川旅ねっと

○仙台駅西口ペDESTリアンデッキは、面積が日本最大規模となるペDESTリアンデッキであり、また、各ペDESTリアンデッキは隣接した商業施設等へアクセスする構造物として非常に重要な役割を持っている。(最も古い箇所はS54完成)
○一方で、維持管理に関しては、「仙台市ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画R5.3改定」などを定め計画的に修繕。



▲仙台駅のペDESTリアンデッキ



▲交通ターミナル(地上部)



▲駅と民間商業ビルを直結(ペDESTリアンデッキ)

3-(4) 他都市事例 事例⑥徳山駅

複合施設

公益機能	商業機能
情報発信機能	賑わい機能

- 徳山駅前旧徳山駅ビル解体跡地に、市が賑わいや交流の創出を図る拠点として民間活力導入図書館、市民活動支援センター、飲食施設等から構成される複合施設を整備【H30.2オープン】。
- 書店・カフェ等と一体的に運営する民間のノウハウを活かした図書館を核に、展望スペース、休憩・待合等の交流スペース、地域情報・行政サービス等のスペース、飲食施設、交番などの機能を持つ。



▲周南市立駅前図書館 出典:周南市立徳山駅前図書館HP

▲徳山駅北口広場 出典:周南市HP

○観光客が多く来訪する湯布院駅では、駅空間に公益施設(アートギャラリー・足湯など)を設置。



▲ホームの足湯(有料)

出典: 駅まち再構築事例集 国土交通省



▲観光客で賑わう湯布院駅



▲構内には待合室を兼ねたアートギャラリー

出典: 駅まち再構築事例集 国土交通省

3-(5) 海外事例 事例① セールスフォース・トランジットセンター (アメリカ, サンフランシスコ)

交通
ターミナル

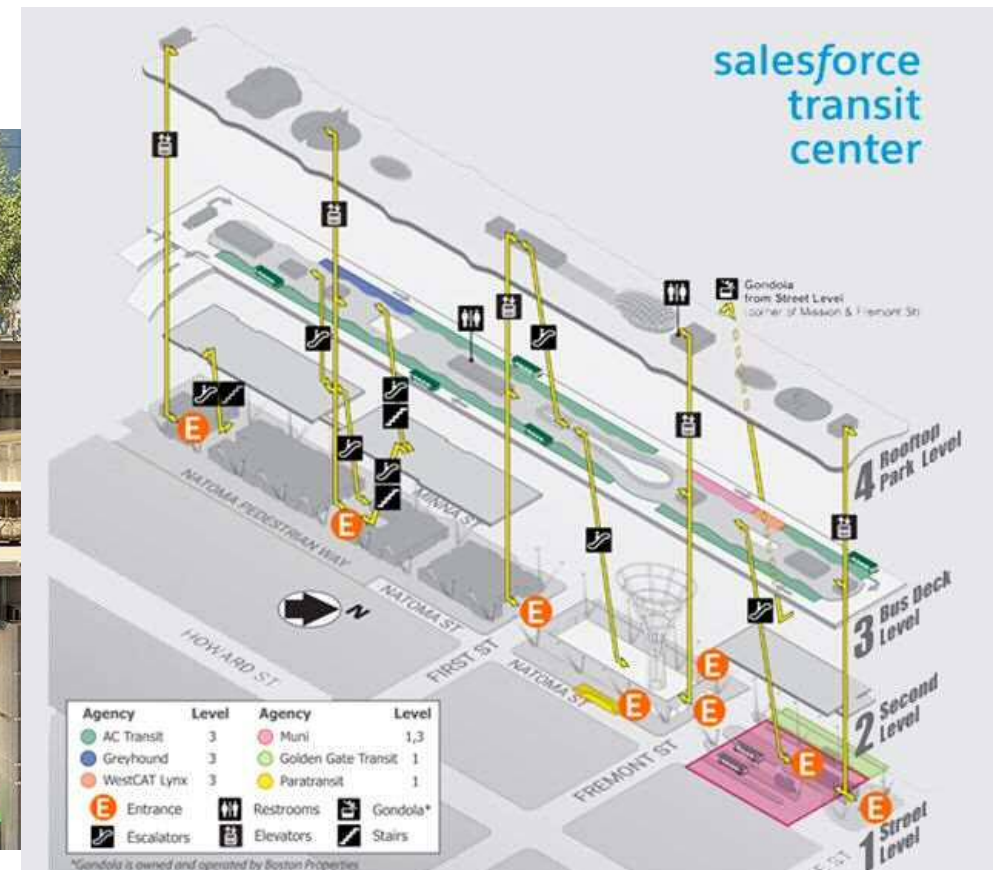
交通結節・ターミナル機能

待合機能

- Salesforceトランジットセンターは、サンフランシスコに位置し、地上4階からなる大規模な交通施設。
- 1,2階は市内を走るトラムやバスの乗り場。3階は近郊地域を結ぶ高速バスの乗り場であり、直接高速道路から乗り入れが可能。
- 4階には屋上広場が広がり、芝生広場や遊具場、複数のベンチなどが設置された広場になっている。



▲セールスフォース・トランジットセンター
出典:セールスフォース・トランジットセンターHP



▲セールスフォース・トランジットセンター
出典:セールスフォース・トランジットセンターHP

3-(5) 海外事例 事例② キングス・クロス駅 (イギリス, ロンドン)

広場等

回遊機能
賑わい機能
滞留機能

○駅周辺に大規模な再開発を行い、広大なオープンスペースを整備。駅前とは歩行者専用道路で、公共空間や広場、運河などを繋ぎ、一体的な賑わいのある空間を生み出している。
○公共空間は人工芝で整備された階段状の広場やベンチの設置、広場空間の確保により人が滞留できる空間を確保。



位置図

キングス・クロス駅



ガスホルダーパーク

セントラル・セント・マーチンズ

リージェント運河

グラナリー広場

階段状の公共空間

中庭のような空間

歩行者用道路

セントバンクラス駅

キングスクロス駅



運河沿いの空間



中庭のような空間



駅前の開発建物



公園と建築中の建物

歩行者用道路

▲キングス・クロス駅の位置図

出典: 公共空間先進事例欧州視察報告書 渋谷区道路課

▲広場などの滞留空間

出典: 公共空間先進事例欧州視察報告書 渋谷区道路課